

おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告
2014年冬号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

参加者募集 市民講座

子育て中の皆様には、ぜひ聞いていただきたいのですが、どなたでも参加できます。会費 無料
3月1日(土) 午後2時～4時 会場 藤枝市文化センター 定員 300人

子育ては毎日発見があるから楽しい……大切なのは「気づくこと」気づくことで「喜びの連鎖が生まれる」気づくと子育ても楽しくなる。



『子どもが変わる 怒らない子育て』

今度こそイライラ卒業!!

イライラの原因を見つけて解決しよう。イライラしない親のちょっとした習慣。

怒るのをやめると、わが子が「自分からやる子」に育つ!

子どもが片づけられない……少しの間、一緒にやってあげる。どうやるかでなく、何をどうするかで話す。

子どもが宿題をやらない……同じタイミングでやるようパターン化する。指示は細かく、具体的に。

甘えさせるのは○、甘やかすのは×……愛情というガソリンが不足している。

まわりの子と比較しない……比較するのは、まったく意味のないこと、成長と共に性格も変わる。

「なぜ」「なに」のコミュニケーションをしよう……子どもにも伝わっていない「なぜ」「なに」を確認する。

『怒らない技術』人材育成で著名な先生

講師 嶋津良智先生



主な著書『女性部下をうまく動かす上司力』『上司に使われるな!上司を使え!』『雨がふってもよろこぼう!』『だから、部下がついてこない!』など

募集 県政報告と交流会

日程 3月1日(土) 県政報告 午後4時30分～ 交流会 午後5時30分～
会場 藤枝市文化センター 交流会費 2,000円

県政報告内容 富士山静岡空港増築、後期総合計画、新規計画事業他

市民講座 9/21 報告 文化センター 元国会福島第一原発事故調査委員

演題『福島第一原発の現状と問題点』 講師 田中三彦先生



落合慎悟 県政報告と交流会 9/21 藤枝市文化センター

3.11地震津波被害から復興状況、8/30福島第一原発現地視察報告、県議会における課題、中小企業振興条例、教育問題について話した。



募集 県議会傍聴と視察研修

日程 3月3日(月) 午前8時～午後5時頃 定員120名 申込順

午前 県議会傍聴、午後 県内視察(沼津港深海水族館) 会費2,500円 昼食・入館料
予定質問内容(4問を分割質問方式で質問します。質問時間25分、全所要時間約60分)

1. 第4次地震被害想定 — 避難所不足と緊急物資、医師確保と医療体制、電気・水道確保対策
2. 経済対策 — 中小企業受注増大条例、消費税対策、ブラック企業の実態
3. 高齢者介護対策 — 3年後高齢化率30%、「高齢化対応度調査」、介護実態と支援策
4. 学校教育問題 — 学力1位の秋田県と比較、いじめ不登校対策、教員体職者対策

落合慎悟県議が県知事・教育長に対面で質問

沼津港深海水族館シーカランズ・ミュージアムは地元の水産会社が約6億円かけて2011年開館した深海をテーマにした水族館です。



2月3日 県島田土木事務所長に高柳地区通学路交差点歩道拡幅要望(県道高洲和田線・市道葉梨高洲線交差点)



昨年秋、高柳市溝町内会の石上町内会長より、高洲小学校南側の県道交差点拡幅を要請された。高洲第二自治会と連携し、市を通して要望書を提出。児童通学路の危険箇所として小規模工事採択。

地主の協力を得て25年度内に歩道拡幅が決定した。

経費削減のため、植木撤去は協働作業で自治会長が協力してくれる。

2/4 県島田土木事務所所長から白ヶ谷高洲第二自治会長・石上高柳市溝町内会長に要望箇所について工事説明があった。

参加者募集 落合政経塾

毎月第一水曜日 19:00～21:00
今後予定 3/5水 4/2(水) 5/7(水) 6/4(水)

常任講師の高塚先生の政治経済講演は勉強になります。県議から県政の話題等報告後、参加者と意見交換をします。ぜひご参加ください。

落合慎悟事務所

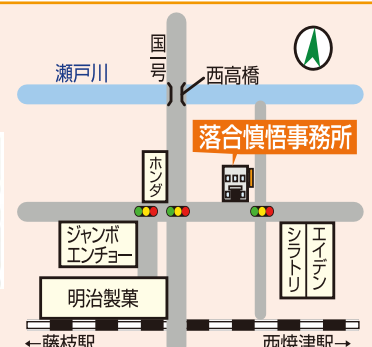
〒426-0031 藤枝市築地838

TEL 054-645-8100

FAX 054-645-8111

メール s.o@thn.ne.jp

http://www.ochiai-shingo.jp



福島県飯盛山会津さざえ堂

静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟



3/3 議場質問席で知事に質問

『第4次地震被害想定 2次報告』新幹線1ヵ月・東名1週間以上不通! 県内経済被害30兆円!

県は6月の第1次報告で死者を最大10万5千人と示し、今回の2次報告でライフラインや交通インフラ等被害を発表した。100年に一度の東海地震を「レベル1」、千年に一度の南海トラフ巨大地震を「レベル2」として被害を想定。経済被害はレベル1で24兆円、レベル2で30兆円と予測した。また藤枝市の避難者数はレベル2で被災1日後48,523人、1週間後64,536人、1か月後55,753人と想定している。

藤枝市指定避難所は40,873人が収容可能で避難所には半数の32,268人が避難するとの予測だが、私は阪神大震災、東日本大震災を直後に視察し、救援活動した経験から、被災避難者の現実とは想像を絶する「酷い状況」になると思う。

新エネルギー「水素社会の到来」は間近!! 水素と酸素の化学反応で電気を発生する燃料電池!

4年前に視察した福岡県の九州大学では水素社会に対応する研究が進んでいる。水素原子は原子番号1番で一番小さな原子であり、水素爆弾ができるくらい水素爆発の威力は強烈で、更に金属・コンクリートなどの物質を透過して金属疲労を起こす原因となる扱いが難しい物質であった。漸く水素を閉じ込める純度の高い金属の開発で技術的に実用化に向けて大きく前進した。今、新クリーンエネルギーとして脚光を浴びている。2015年に市販される次世代燃料電池車が東京モーターショーに出展された。トヨタ自動車とBMW、ホンダとGMがそれぞれ共同開発している。現在全国17カ所ある水素ステーションは2015年には100カ所建設する予定だ。更に燃料電池車市場は2025年には5兆円規模となる。

水力発電所が原発に替わるエネルギーとして脚光を浴びている。トップ長野県164万kw 静岡県83万kw

原発1基の発電量は約100万kw。昨年完成した島田市伊太水水力発電所は897Kwで常時発電している。ダム式の水力発電はゴミや堆積土の問題があるが、用水路を活用した小水力発電は安価で非常に効率が良い再生可能な自然エネルギーである。固定制度買取制度のおかげで買取価格が6円程度から200kw未満は35.7円になった。大井川用水では更に2カ所新設工事を行っている。毎秒1tの水量があれば50kw発電できる。50kwで総事業費が約5千万円、国の補助が1/2、全国的にブームとなっている。今、藤枝市の企業が共同で水力発電機を製造販売している。

川勝知事が県庁の移転構想? 静岡市・浜松市の政令2市は県とほぼ同格で県を必要としない!!

政令市には県と同等の権限がある。2級河川、県道だけでなく、県権限のほとんど移管されて国と直接折衝できるようになった。公立小中学校の教育委員会権限、さらに警察部長も存在。そのため県職員は大幅に減った。だから県民一人当たり平等に配置されている県議も政令市配置数の見直しが必要だ。現在、県議の数は両市で69人中28人もいる。法改正で政令市の県議を減らすことが条例設置で可能となったが、政令市県議の反対が進まない。私は30年前、日本青年会議所に出向し道州制を訴えたが、30年経ち市町村が合併し自治体が大きく変わった。もう道州制ではなくて市町村をさらに20～30万人規模に再編し、300～500の中核市として権限を持たせ、県を廃止して国と中核市だけの自治制度を推奨する。

20年前に市議1期4年、県議活動7年「誰もが安心して暮らし、活力ある県民生活」を目指し邁進します。ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

『リニア新幹線』実験線視察と環境影響調査 「1月16日暮らし環境委員会でJR東海を招致し非公開勉強会開催」

計画施設	箇所数	凡例
計画ルート	10.7km/16	
発生土置き場(仮設)	1箇所	■
発生土置き場(本設)	1箇所	■
工事用トンネル	2箇所	○
新築口(仮設)	2箇所	○
施工ヤード	2箇所	□
留	3箇所	△

12/14 リニア新幹線実験走行中 300～500km/h 山梨県リニア見学センター 委員会審議と知事に要望 南アルプス二軒小屋付近リニア新幹線ルート

要望書『瀬戸川(勝草橋～金吹橋間)における護岸整備及び樹木の伐採等について』

9月24日 島田土木事務所長に藤枝第1・2・3自治会長・青島第7・12自治会長の5名で瀬戸川整備要望書提出(7月に藤枝地区自治会長から瀬戸川整備について依頼を受けた。藤枝市と相談の上、9月に市長の依頼文書を付けて今回の要望書提出になった。)

要望内容 島田土木事務所長のコメント

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 瀬戸川(川の中)の雑木の撤去・・・柳の木他 | (1) 河川浚渫費用の藤枝市割当て予算は2千万円程度と少ないが危険箇所は対応。 |
| (2) 瀬戸川左岸道路整備(歩道設置)についてのお願い | (2) 堤防道路が狭く歩行者が多いことは理解している。堤防の遊歩道は市と検討。 |
| (3) 瀬戸川左岸(金吹橋の下流)護岸工事のお願い | (3) 下流護岸ブロックは現状見た目に悪いが可動式護岸ブロックで問題はない。 |

総括 島田土木事務所は河川維持修繕費の予算が23,700万円、その内除草浚渫費用は8,500万円と少ない。地域要望は多く対応できない。左岸側護岸工事も勝草橋近辺は改修を完了している。今後、本庁に予算要求し、さらに左岸側を改修していきたい。

今回の要望はできるだけ対応したいが、「落合県議からも県本庁に浚渫予算増の要望をしてほしい。」・・・との要請を受けた。県が推進しているリバーフレンドシップ事業に瀬戸川地区は参加している。藤枝地区も補助金制度もあり県と協働を依頼された。

追加要望 以前から要望していた瀬古地区の右岸側は今年度堤防管理道路を整備着手したが、消防車が通れるように再度要望した。



瀬戸川内の樹木の状況 左岸側に遊歩道を要望 勝草橋上流側の護岸整備 金吹橋付近の護岸状況 右岸瀬古地区の管理道路 瀬古地区が管理する梅林

2月11日(祝日)朝8時県・市・自治会協働で瀬戸川清掃作業を行います。(勝草橋～金吹橋)

自治会長が「瀬戸川河川内樹木伐採の要望書」の件を自民党井林辰憲衆議院議員に相談したお陰で、土木事務所は市と地元の協力を得て瀬戸川河川整備を促進することに決定した。朝比奈川でも同様に地元要望がある。今後この方式で河川清掃を検討したい。

瀬戸川両岸の藤枝青島の5自治会が樹木伐採と草刈りを行い、県が運搬、市役所が焼却を担当、官民の協働作業で河川清掃を行う。前例のない「県・市・自治会協働で清掃作業」が実現した。当日は岡部町本郷地区からも樹木伐採にチェーンソー隊が応援に来てくれる予定だ。